



第2回

全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス

in
奈良・生駒

キャンナス大会



～想いをつなぎ
今、地域で輝く仲間づくりへ～

日時

2026年 6月 20日(土)
10:00～17:00 受付開始 9:30～

会場

生駒市コミュニティセンター 1F 文化ホール

(生駒セイセイビル内) 奈良県生駒市元町1丁目6-12

近鉄生駒駅 中央改札口から南へ徒歩2分

会場に駐車場はございません。
お車でお越しの方は近隣のパーキングをご利用ください。

参加費

お一人様 1,000円 (当日現金でお支払ください。)

参加対象

キャンナスにご興味のある方ならどなたでも

大会内容

スペシャルな講師たちによる講演
& 各地キャンナスからのきらきら活動報告

キャンナス(CANNUS)は、
地域に住んでいる看護師が
忙しい家族に代わって
介護のお手伝いをする
「訪問ボランティアナースの会」
です。



特別講演

「明日香に生きる」から見る 寄り添うケア
～キャンナスに贈るメッセージ～

武田 以知郎 (医師・明日香村国民健康保険診療所 所長)



特別講演

共生社会における地域の力
～あなたの想いを形に～

田中 明美 (奈良県福祉保健部 次長)

懇親会のご案内

閉会後、18時～同会場にて懇親会を予定しております。(参加費: 5,000円)
参加お申込みフォームにて参加の有無をお聞かせください。

主催: 全国訪問ボランティアナースの会
キャンナス

CANNUS

<https://nurse.jp>

全国121番目のキャンナス
主管: キャンナス生駒

<https://cannusikoma.jp>



お問い合わせ
cannusikoma@gmail.com
090-8366-3930

参加お申込み
フォーム
はこちら





全国訪問ボランティアーナースの会 キャンナス

第2回 キャンナス大会 in 奈良・生駒 プログラム



9:30~	受付開始	
10:00~10:10	開会あいさつ	代表 安原忍 副代表 尾山章子 (キャンナス生駒)
10:10~10:25	生駒市長あいさつ	小紫 雅史 (生駒市長)
10:25~11:15	講演 キャンナスの今までとこれから 菅原由美 (キャンナス代表)	
11:15~12:30	特別講演 共生社会における地域の力 ～あなたの想いを形に～ 田中明美 (奈良県福祉保険部 次長)	
12:30~13:30	休憩	会場内では持ち込み飲食可能です。
13:30~15:15	特別講演 「明日香に生きる」から見る 寄り添うケア ～キャンナスに贈るメッセージ～ 武田以知郎 (医師・明日香村国民健康保険診療所 所長)	
15:15~16:15	講演 完全側臥位法が叶えた“最期に食べたい”を支えるケア ～食いしん坊のおばあちゃんとおせっかいの孫が紡いだ物語～ 吉武悦代 (キャンナス田川 代表 / 訪問看護ステーションわんず 管理者)	
16:15~16:55	各地キャンナスからのきうきう活動報告 本田由美子 (キャンナス長崎ながよ) 森蔭都 (キャンナス宍粟山崎)	
16:55~17:00	閉会あいさつ	



田中 明美 (たなか あけみ)

奈良県福祉保険部 次長。
保健師・看護師として人の暮らしに向き合い、行政職員として地域福祉の推進に携わる。
生駒市では、介護予防、認知症施策、医療・介護連携、生活支援体制整備などに取り組み、地域包括ケアシステムの構築に尽力。
2020年から厚生労働省老健局において、全国の自治体を支援する職員派遣事業の立ち上げや、「地域づくり加速化事業」を担当。
現場の声を大切にしながら、地域の想いや工夫が制度につながる仕組みづくりを国の立場から後押し。
現在、奈良県福祉保険部 次長として、専門職一人ひとりの力が地域にひらくこと、共生社会の実現へつながっていくことを願い、地域包括ケアの推進に取り組んでいる。



武田 以知郎 (たけだ いちろう)

医師。奈良県御所市出身。
自治医科大学卒業後、へき地・地域医療に携わり、小児科医としても活躍。
奈良県天川村国民健康保険南日裏診療所 所長、国立福井病院小児科医長、奈良県立五條病院へき地医療支援部長兼小児科部長などを歴任。
平成22年から現職。令和3年度日本小児科学会小児保健賞受賞。
温かい人柄で、地域全体を家族としてとらえる長年の功績がたたえられ、第2回奈良のお薬師さん大賞、日本医師会赤ひげ大賞など、受賞多数。生き方に寄り添う「明日香のイチロー」と呼ばれている。
地域に根差した取り組みが、在宅医療に携わる医師と患者の交流を描いたドキュメンタリー映画「明日香に生きる」(溝渕雅幸監督)として令和5年に公開。



吉武 悅代 (よしたけ えつよ)

キャンナス田川代表、訪問看護ステーションわんず 管理者。
福岡県田川市を拠点に、在宅医療・看護の現場で“その人らしい暮らし”を支える活動を続けている。食いしん坊だった当時98歳の祖母が入所中の高齢者施設で誤嚥性肺炎を繰り返し、余命宣告を受けたことをきっかけに、自宅での看取りを決意。絶食中だった祖母に「安心して好きななものを食べさせてあげたい」という想いから、〈完全側臥位法〉と出会う。在宅介護の経験が、「最期に食べたい」という願いに寄り添うケアの原点に。
現在、〈完全側臥位法〉の実践、普及にも注力。また、田川市公認第一号チームオレンジ(おれんじ♡キャンナス)を立ち上げ、認知症になつても安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。



代表あいさつ

キャンナスも182カ所となり、各地の代表が素晴らしい活動を展開していることを日々誇りに思っています。そして皆様が「キャンナスをやってよかった」と言ってくれることが、何よりも私は嬉しく幸せです。そんなキャンナスの活動を、このキャンナス大会を通してもっと多くの方に知っていただけたら幸いです。さらにこの大会が、これからのおななスを輝かせる活路となる事を願います。

キャンナス代表 菅原由美

